

週間漁海況情報—第23号

平成24年6月11日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.green.pref.tokushima.jp/suisan/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

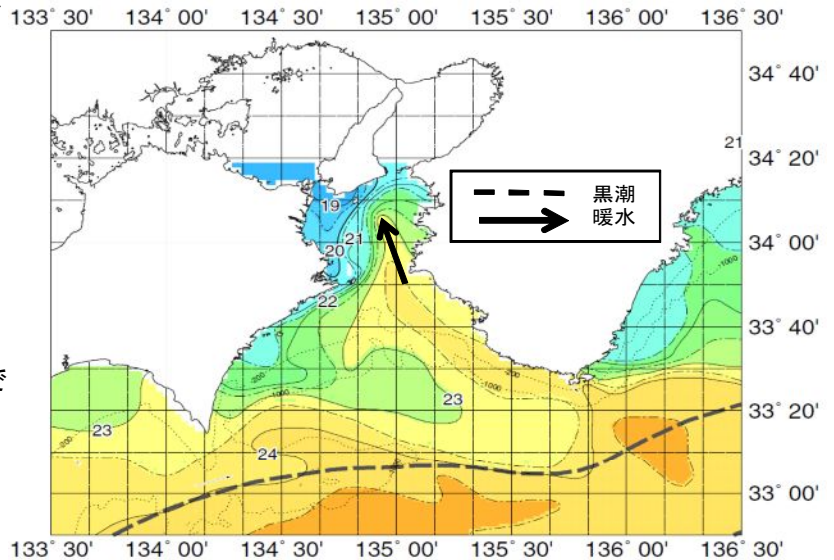
1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H24.6.11）を示した。

黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、24℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で18～19℃台、紀伊水道で18～23℃台、海部沿岸で21～23℃台である。

紀伊水道内および外域では、それぞれ和歌山県側に23℃台の暖水流入が見られる。海部沿岸は、21～22℃の内海系水に覆われている。



播磨灘海区観測結果

観測日		水温				塩分			
		表層	10m	20m	30m	表層	10m	20m	30m
6/7	今年値	19.5	18.0	17.1	16.7	31.8	31.9	31.9	32.0
	平年偏差	0.5	0.5	0.2	0.7	-0.3	-0.3	-0.4	-0.4
	前年偏差	1.7	1.1	0.3	0.7	-0.2	-0.4	-0.5	-0.7

漁業調査船「とくしま」で6月7日に行った播磨灘海区の海洋観測では、表層、10m層及び30m層水温が「やや高め」の16.74～19.5℃、20m層が「平年並み」の17.1℃であった。

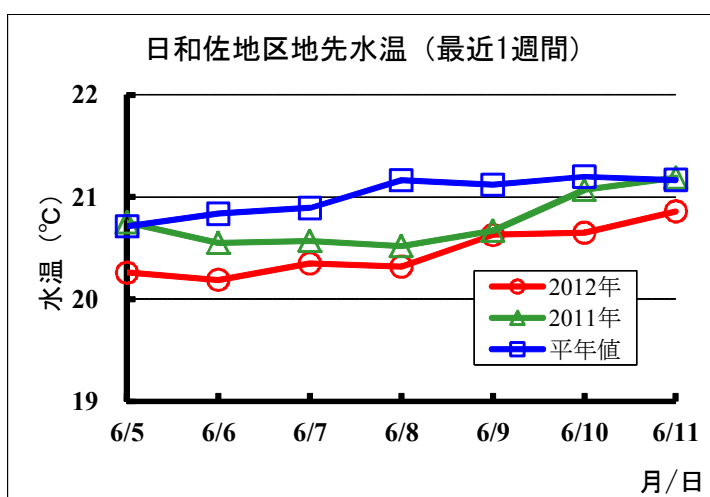
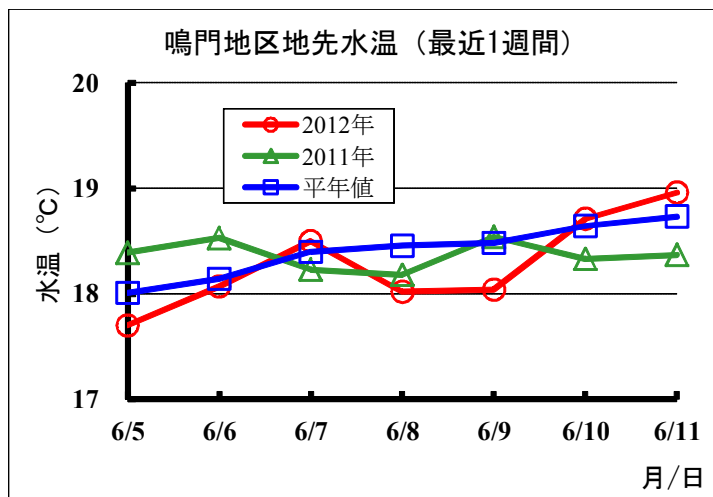
地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」の17.7～19.0℃、日和佐地区は「やや低め」～「平年並み」の20.2～20.9℃、牟岐地区は「やや低め」～「平年並み」の20.9～21.6℃で推移した。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」～「接岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「平年並み」の19℃台、日和佐地先で「平年並み」の20～21℃台で推移する見込み。

*水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上



2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で、小主体にアカムツが0.5トン（1日1隻当たり32kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、マイワシが2.5トン（同68kg）、ウルメイワシが2.3トン（同76kg）、大主体にカタクチイワシが0.6トン（同58kg）、マメ主体にマアジが1.9トン（同64kg）、マルソウダが0.3トン（同18kg）、スルメイカが0.2トン（同15kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、小主体にマアジが4.4トン（同2,195kg）、マルアジが0.4トン（同198kg）、マルソウダが3.7トン（同1,852kg）、小主体にゴマサバが0.7トン（同334kg）、大主体にシイラが0.4トン（同177kg）、小主体にスルメイカが0.6トン（同282kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、中主体にカツオが12.4トン（同887kg）、中主体にキハダが5.1トン（同363kg）、紀伊水道で、タチウオが0.3トン（同28kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道で、シラスが2.3トン（同83kg）水揚げされた。

漁業種別集計表（抜粋） 6月4日～6月10日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アカムツ	17	549	32	小主体
小型定置網		マイワシ	37	2,503	68	
		ウルメイワシ	30	2,265	76	
		カタクチイワシ	10	578	58	大主体
		マアジ	30	1,912	64	マメ主体
		マルソウダ	16	287	18	
		スルメイカ	15	231	15	
		大型定置網	マアジ	2	4,389	2,195
マルアジ			2	396	198	
マルソウダ			2	3,704	1,852	
ゴマサバ			2	667	334	小主体
シイラ			2	354	177	大主体
スルメイカ			2	564	282	小主体
釣り		海部沿岸	カツオ	14	12,414	887
	キハダ		14	5,082	363	中主体
パッチ網	紀伊水道	シラス	61	2,300	83	